



平成19年8月23日

各位

会社名 株式会社大塚商会  
 代表者名 代表取締役社長 大塚 裕司  
 (コード番号 4768 東証第一部)  
 問合せ先 取締役兼専務執行役員  
 管理本部長 原田 要市  
 (TEL. 03-3264-7111)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年8月1日の中間決算発表時に公表した平成19年12月期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)の業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

平成19年12月期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	464,800	29,000	29,370	16,420	519円59銭
今回修正予想(B)	464,800	29,000	29,370	17,240	545円53銭
増減額(B-A)	-	-	-	820	
増減率(%)	-	-	-	5.0%	
(ご参考)前期実績 (平成18年12月期)	433,617	26,158	26,494	15,621	494円30銭

2. 個別業績予想の修正

平成19年12月期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	433,700	26,600	27,100	15,700	496円80銭
今回修正予想(B)	433,700	26,600	27,100	17,090	540円79銭
増減額(B-A)	-	-	-	1,390	
増減率(%)	-	-	-	8.9%	
(ご参考)前期実績 (平成18年12月期)	402,886	24,334	24,882	14,532	459円87銭

### 3. 修正の理由

当社及び連結子会社6社が従来採用しておりました確定給付企業年金基金制度につきましては、平成19年7月1日より、確定拠出年金制度及び規約型確定給付企業年金制度へと移行しておりますが、この移行により計上する見込みの特別利益の額が判明いたしました。

平成19年12月期第3四半期において計上する見込みの、退職給付制度の移行による特別利益は、以下のとおりです。

<連結> 42億円

<個別> 43億円

この特別利益額は、当初見込み額19億円に対し、連結で23億円、個別で24億円上回ることとなりましたため、当期純利益につきましては、平成19年8月1日の中間決算発表時に公表した平成19年12月期(平成19年1月1日~平成19年12月31日)の業績予想を修正いたします。

(注)この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上